

喜界町

図書館だより

5月号



【通算 第287号】

2020（令和2）年5月1日発行

〒891-6201

喜界町大字赤連字樋口前30番地

TEL：0997-65-0962

FAX：0997-65-2523

e-mail:kikailib@town.kikai.lg.jp

ブックスタート
図書館からのプレゼント！
（コットンバッグ・絵本）



赤ちゃんと保護者が、絵本を介して一時の心の触れ合いをつかむ、きっかけづくりのお手伝いをしています。

★（受け取りは0歳児のみ。ブックスタートの文庫が届いたのち、図書館にご来館ください。）

＝ 入賞おめでとう！！ 読書マラソン表彰 100冊以上は75名 ＝

全世界で新型コロナウイルスが猛威を振るい、我が国でも4月16日に全都道府県に緊急事態宣言が発令され、国をあげてウィルスの感染拡大防止に取り組んでいるところです。本町においても、町民一人一人が不要の外出を控えたり、手洗いや咳エチケットの徹底を心がけたりして感染拡大防止に取り組んでいけたらと思います。

さて、令和元年度喜界町図書館主催の読書マラソンが3月31日で終了しました。その結果を受けて、100冊以上の多読者への表彰を4月14日から図書館来館時に随時行っています。今回の100冊以上の入賞者は、幼児14名、小学生18名、一般43名の計75名でした。

「生活の中に図書館を！普段から楽しんで読書に親しんでほしい」という趣旨のもとで実施した読書マラソンは、登録者全員を対象として昨年4月1日から今年3月31日までの1年間の貸出冊数を集計した結果、幼児の最高多読者が398冊、小学生が427冊、一般が722冊でした。今後も、町民の皆様の要望に応えられるよう図書館の充実を図っていきたいと思いますので、多くの皆様のご利用をよろしくお願いいたします。

「子ども時代の読書の思い出」 ～上皇后美智子様の皇后時代のご講演から～

上皇后美智子様は、皇后時代の1998年国際児童図書評議会ニューデリー大会の基調講演で子ども時代の読書について、「今振り返って、私にとり、子ども時代の読書とは何だったのでしょうか。何よりも、それは私に楽しみを与えてくれました。そして、その後に来る青年期の読書のための基礎を作ってくれました。それはある時には私に根っこを与え、ある時には翼をくれました。この根っこと翼は、私が外に、内に、橋をかけ、自分の世界を少しずつ広げて育っていくときに、大きな助けとなってくれました。」と述べられました。

喜界町図書館でも、年間を通して多くの子ども達に利用していただいておりますが、今行っている読書が喜界町の子ども達に根っこや翼を与え、それぞれの世界を少しずつ広げていくてくれたらと思います。



おしらせ

本は期間内に返却しましょう！

募集中！

読み聞かせボランティアを募集しています
興味のある方は、図書館へ連絡ください。

2020（令和2）年度読書マラソン開始

期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

対象者：図書カードを持っている方全員参加とします。

【特典】

100、200と冊数が増えるごとに貸出冊数が1冊ずつ増えます。

100冊以上読んだ方・・・11冊

200冊以上読んだ方・・・12冊

300冊以上読んだ方・・・13冊借りられます



「子どもの日おはなし会」中止のお知らせ

5月2日（土）に「子どもの日おはなし会」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止といたします。（5月の「定例おはなし会」も、中止になることがあります。）

2020年 本屋大賞は、 『流浪の月』

風良ゆう 著 東京創元社

◎本館にも所蔵しています。

2020年 本屋大賞ノミネート作品も図書館にあります。
ぜひ、読んでみてください！（2位以下は次の通り）

『ライオンのおやつ』 小川糸 著 ポプラ社

『線は、僕を描く』 砥上裕将 著 講談社

『ノーストライ』 横山秀夫 著 新潮社

『熱源』 川越宗一 著 文藝春秋

『medium霊媒探偵城塚翡翠』 相沢沙呼 著 講談社

『夏物語』 川上未映子 著 文藝春秋

『ムゲンのい』 知念実希人 著 双葉社

『店長がバカすぎて』 早見和真 著 角川春樹事務所

『むかしむかしあるところに、死体がありました。』

青柳碧人 著 双葉社